

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム ・ サマリヤの家

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

亀井 慶子

評価完了日

平成 19 年 6 月 1 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月8日

【評価実施概要】

事業所番号	3873400208		
法人名	(有)介護支援サービスしるもと		
事業所名	グループホーム サマリヤの家		
所在地	上浮穴郡久万高原町上野尻甲623-2 (電話) 0892-21-2233		
管理者	亀井慶子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年7月13日	評価確定日	平成19年9月8日

【情報提供票より】 (平成19年7月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年9月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	11人	常勤	5人, 非常勤 6人, 常勤換算 5.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000円			
(3)利用者の概要 (平成19年7月1日現在)			
利用者人数	9名	男性 2名	女性 7名
要介護1	0名	要介護2	3名
要介護3	4名	要介護4	2名
要介護5	0名	要支援2	0名
年齢	平均 94.6歳	最低 89歳	最高 102歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 あり (なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>事業所内の天窓からやわらかい光が射し込み、ソファやテーブル等、利用者それぞれがお好きな場所でくつろいでおられる様子がうかがえた。 散歩時に、ご近所の方の玄関先でおしゃべりをされたり、近所の神社にお参りに行かれる方もいる。 昼食時間が近くなると、利用者が自ら割烹着を着て食事の準備をされている様子がうかがえた。職員と利用者が一緒に食事をされながら、料理の作り方や味付け等についてお話しをされていた。食事の進まない方には、おむすびにされていた。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、口腔ケアチェック表を作成し声かけ等も工夫を重ねておられた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・職員全員が自己評価に取り組むことで、それぞれの職員が日頃のケアについて考えることができたと話されていた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・法人内の2事業所で会議を開催されている。警察、消防等の方にも参加いただき、事業所のことをより知っていただけるよう取り組まれている。外部者からの意見を質の向上につなげられるよう取り組まれている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族は、近くにお住まいの方が多く、中には職員と顔見知りの方もおられる。ご家族の来訪時等に意見、要望等はないか聴いておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・公民館の行事、婦人会、高校のバザー、又、運動会では、利用者は玉入れ等にも参加された。高校生、中学生の職場体験の受け入れをされており、その後、事業所のクリスマス会に子供達が訪れてきている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			当ホームは、開設当初より住み慣れた地域での安心した生活と本人の望む自由な暮らしを支えるための理念を職員全員でつくりあげている。		実践に向けて職員全員で取り組んでいる。
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの望む生活が地域の中で送れるよう「やさしい笑顔、寄り添う心、利用者本位」の理念を職員全員で作っておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			代表者と管理者が様々な場面で、理念の大切さと実践に向けた取り組みについて職員と話している。新人研修際には特に理念を理解してもらえるよう話し、日々のケアに生かせるよう取り組んでいるが、全ての職員ができていないとは言えない。		全ての職員が理念の実現に熱意を持って取り組めるよう意識改革と指導に取り組んでいる
			(外部評価)		
			法人代表者は、理念についてカンファレンスで話しておられる。職員は、1日1回は利用者の笑顔が見られるように取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域の方やご家族には入居時、訪問時、運営推進会議等おりに触れお話しして取り組んではいるが、まだまだ浸透しているとは言い難い。		地域密着型サービス事業所として利用者を支えていくために、もっともっと言葉や実践、パンフレット等を用いて伝える工夫をしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員がホームの近隣に住んでおり、農作物をいただいたり、散歩の途中、立ち話をしたり利用者を含め顔なじみになっていて日常的に親しい関係が出来ている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 前ホ - ムからの移転時、自治会で地区住民に説明をさせてもらっており自治会にも加入している。地域の敬老会、近所の幼稚園や保育園の行事等積極的に参加している。 (外部評価) 公民館の行事、婦人会、高校のバザー、又、運動会では、利用者は玉入れ等にも参加された。高校生、中学生の職場体験の受け入れをされており、その後、事業所のクリスマス会に子供達が訪れてきている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 人材育成への貢献として職場体験や実習生を受け入れている。		認知症に対する啓発事業として、ご家族や地域の方々を対象に講習会を予定している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価を職員全員で行い、サ - ビスの質の向上に努めている。外部評価の結果はカンファレンス時に報告し、別途個々に細かく読み取り実践につなげるよう指導しているが、改善計画シートは作成しておらず口頭での改善指導にとどまっている。 (外部評価) 職員全員が自己評価に取り組むことで、それぞれの職員が日頃のケアについて考えることができたと話されていた。前回の評価結果を受けて、口腔ケアチェック表を作成し、声かけ等も工夫を重ねておられた。		評価の意義と目的をもっともっとわかりやすく職員に伝え、改善計画シ - トの作製による具体的な実践につなげるよう取り組みたい。 今後も、職員の気付きをケアにつなげていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議にはご家族、行政職員はじめ地域の様々な立場の方の参加があり、ホ・ムの取り組みを知っていただくと共に、参加者からも質問、意見、要望等、双方向的な会議となっている。		今後、ご近所の方々にも案内してホ・ムをもっと良く知っていただくよう交流に努めたい。
			(外部評価)		
			法人内の2事業所で会議を開催されている。警察、消防等の方にも参加いただき、事業所のことをより知っていただけるよう取り組まれている。外部者からの意見を質の向上につなげられるよう取り組まれている。		今後、ご近所の方達にも会議に出席していただけるよう、声をかけることを計画されていた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			町が毎月1回開催する地域ケア会議に必ず出席し情報の共有を図っている。また、町の担当者が変わった時にはホ・ムの見学に来てもらい関係作りを積極的に行い、連携、協力が得られている。		
			(外部評価)		
			月1回、町の主催の地域ケア会議に出席し、地域の情報等を得たり意見交換がなされている。又、勉強会等もされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修出席者が学んだことやパンフレット等を持ち帰り、全職員に周知している。		学んだり聞いたりしていても、実際に利用者が無く関わっていないと、その時だけの学びになってしまっている。しっかり理解を深めるよう継続した勉強会等を行うよう取り組む。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			代表者、管理者が虐待防止に関してはっきりとした考え方、方針を持ち、常にカンファレンス等でも話し合っており職員への教育・指導もしっかりなされている。		ストレスが虐待を生むとも言われており、身体的・精神的、全ての虐待を生じさせないよう継続的にあらゆる取り組みをしていきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時には、当ホ - ムのケアに関する考え方や取り組み等をはじめ、グル - プホ - ム協会から出ている利用者の権利、倫理綱領等を契約書と一緒にお渡しして不安のないよう十分に説明し、理解、納得をいただいている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員が月2回来訪しており、利用者が外部の人に思いを話せる機会となっている。また、管理者、職員にも話すことが出来るよう個々の部屋での会話をもちょうようにしている。出された希望や要望は運営や日々のケアに生かしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月利用料請求時に近況報告の手紙を同封している。来訪時に写真やビデオ、ケ - ス記録等見ていただき、ご本人の暮らしぶりや日常の様子などお伝えしている。又金銭管理は個別の金銭出納帳で管理しており、毎月ご家族に報告、確認していただいている。		
			(外部評価) 毎月のご家族来訪時に、ご本人の日常の様子や金銭管理の報告をされている。状態変化時には、電話でその都度お知らせしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族が、利用料の支払いに来られた時等、できるだけ管理者が時間をとり気軽に何でも言ってもらえるよう留意しているが、不満や苦情は言い難いこともありあまり聞き取りができていない。要望等はすぐに対応させてもらっている。		個々の御家族の不満や苦情はどうしても把握しにくいところがあるので、今後、家族会を作り代表者から、みんなの声として上げてもらえるよう取り組んでいく。
			(外部評価) ご家族は、近くにお住まいの方が多く、中には職員と顔見知りの方もおられる。ご家族の来訪時等に意見、要望等はないか聴いておられる。		今後、事業所では、家族会の発足も検討されており、さらに、ご家族の思いや願いを汲み上げ、意見等を運営に反映したいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 代表者、管理者は常に職員の要望や意見を聞くように心がけている。管理者も話しやすい人柄なので、ある程度の把握はできているが、不満や苦情は言いにくい部分もあり把握しきれていない部分もあると思う		日頃からもっともっとコミュニケーションを図るよう心がけ職員の意見・要望・提案がホ-ム運営に反映されるよう取り組んでいく。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況の変化や自由な生活に合わせられるよう、柔軟なロ-テ-ションを組むようにしている。夜間、必要時には代表者が夜勤補助に入り2名体制を取っている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ほとんどの職員が馴染みの関係になっており、異動や離職がやむを得ない場合もダメージを少なくするよう努力をしている。新人職員は利用者やご家族に紹介し、理解をしてもらっている。		
			(外部評価) 職員の手手がほしいような時には、法人内の事業所からの応援が頼めるようになってきている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 新人研修をはじめ、全ての職員が段階に応じた研修を受講する機会を作り、積極的に参加してもらっている。受講後は報告書を提出してもらい回覧し共有している。		
			(外部評価) すべての職員が研修を受けられるよう取り組まれており、研修で得た内容をケアに採り入れておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	(自己評価)		
			<p>他市町村のグループホームとの交流（見学や意見、情報交換等）は行っているが、町内の他のホームの方とは会議等で同席した時話す程度でホーム同士の交流には至っていない。</p>		町内のグループホーム同士で交流をし、自ホームだけでは気づかないケアや環境などの新たな気づきの場として相互訪問等検討していきたい
			(外部評価)		
			<p>町内の他事業所とは、会議で顔を合わせることはあるが、かかわるような機会は少なめである。町外の事業所との交流は活発になされている。</p>		今後、行政も交え、町内の同業者との交流を行っていくことを計画されている。
21		<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>代表者、管理者は食事会等気軽に話せる機会を設けたり、日常的に職員のストレスや悩みの把握に努めているが、全ての職員のメンタルヘルスケアが十分とは言えない。</p>		親睦の機会をより多く持ち、話すことによる精神的ストレスの軽減と、勤務時間中にも気分転換を図れるよう短時間でも交代で休憩する等身体的ストレスの軽減を図るよう取り組む。
22		<p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>ヘルパ - 講習を地元で受けられるよう講習会を招致したり、資格取得に向けた支援をしている。代表者も口 - テ - ションの中に入っており職員個々の状況を把握し、向上心を持って働けるよう日常の声かけや評価を行っている。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>					
<p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		<p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	(自己評価)		
			<p>できるだけ生活状況の把握に努め、利用者によっては訪問 入居の段階を踏み、信頼関係を作ることによってご本人、ご家族が安心できるよう努力している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) これまでの家族関係やご本人の状況など、じっくり話を聴き、当ホ-ムではどのような対応ができるのか、双方の理解と納得がいくまで話し合いをするよう努めている。柔軟な対応を行うが、場合によっては他のサ-ビスにつなげることもある。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談者に対しては可能な限り柔軟な対応を行っている。場合によってはケアマネ-ジャ-等と連携のうえ他のサ-ビスにつなげることもある。		当ホ-ムは原則として利用申し込み順に入居してもらっており、共同生活が困難等特別のことがない限り利用者の状態に対して柔軟な対応を取らせてもらっている。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 何度かホームに遊びに来てもらうという形で、職員や他の利用者、場所、環境に徐々に馴染むよう家族などと相談しながら、住み替えによるダメ-ジを軽減させるよう支援している。 (外部評価) 入居間もないころには、ご家族が宿泊されたり、馴染むまで職員がそばでサポートをされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒に時を過ごす家族のような関係作りに努めている。共に喜び、共に哀しみ、支え合っていく生活を作り上げていく努力をしている。 (外部評価) 職員は、利用者からこれまで作っていた料理や野菜の名前、色紙の折り方等を教えていただいている。そのような会話からお話も広がっている様子がうかがえた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 様々な家族の在り方があるが、それぞれに置かれた家族の思いに寄り添いながら喜怒哀楽を共にし、本人を支える関係を築くよう努めている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) いろいろな家族の形態や歴史があり、本人と家族の潤滑油になるよう努めている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 知人を訪ねたり、来てもらったり個々人の能力に合わせて馴染みの人や場所との関係がとぎれないように支援している。デイサービスに、知り合いが来たときは会いに行ったり、訪問してもらったりしている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 仲のよい利用者同士で座ってもらったり、孤立しがちな方は職員がうまく交わる場面を設定したりしながら利用者同士の関係の支援をしている。		トラブルの場合、原因を把握し共同生活に支障を来さないよう双方にイヤな思いを残さないような対応方法の学びをしていく。特に新人職員の研修に力を入れていく。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホ・ムでの対応が困難になり、長期入院となってしまう利用者・家族との関係を断ち切らないようお見舞いに行ったり相談を受けたりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の関わりの中で、職員一人一人が把握に努めている。可能な限り本人の意向を第一にしているが、意思疎通の困難な方の場合家族の希望や本人の表情、様子等から把握し希望に添っていけるよう努めている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者との会話の中からお好きなことや困っていること等をお聴きし、担当職員を中心にアセスメントを作成しておられる。聞き取りの困難な方には、表情や仕草等から汲み取り、把握に努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			普段の関わりの中から本人自身への聞き取りや、家族・友人の来訪時などに担当職員が少しずつ把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			一人一人のできること（排泄、睡眠、生活習慣等）の全体像を日々のかかわりのなかで把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族の希望や、一人一人の能力別に思いや希望を普段の生活の中からくみ取り、本人、家族、職員たちと話し合いプランに生かすようにしている。		
			(外部評価)		
			センター方式の様式を採り入れ、職員で話し合い、計画を作成しておられる。		ご家族や利用者に関わる人達の意見やアイデアをさらに採り入れた計画の作成についても、取り組みを充実していられることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			設定した期間にとらわれず、個々人の生活、身体・精神状態の変化にあわせて見直しを行っている。細かいことはプランに載せず口頭の申し送りで行うようにしているが全職員に周知できていない場合もある。		細かい部分までプランにあげて、職員全員が共有するプランに沿ってケアが実行できるよう取り組む
			(外部評価)		
			介護計画は3ヶ月、又、要介護認定更新時に、ご本人ご家族から聞き取りを行い見直しが行われている。又、状態変化時に見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			ケ-ス記録に一人一人の状態(食事、水分、排泄等)や会話等、生活状態が分かるように時間を追って記録している。いつでも全ての職員が確認、記入ができるよう共有し実践している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			デイサ-ビスの利用をはじめとして、外出、送迎、通院等必要に応じ本人・家族の状況や要望を軸に臨機応変に対応している。		
			(外部評価)		
			併設デイサービスのイベントへの参加等、交流されている。理美容院の利用や帰宅等、個別の外出や、松山市まで病院を受診に行くこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域ケア会議、運営推進会議等で協力をお願いし普段から連携を取っている。また幼稚園や保育園、学校等行事への参加や職場体験の受入等を行い、地域で安心して暮らしていけるよう支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他事業所の文化祭に見学に行かせてもらったり、同法人内にあるデイサービスに遊びに行ったりさせてもらっている。		今後もっと積極的に色々なサービスの利用を本人・家族と相談しながら支援していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に地域包括支援センター職員の出席もあり日常的に相談や助言等受け、情報交換、協力関係が築けている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望するかかりつけ医に月1回往診してもらっている。体調不良時は随時往診してもらったり職員が同行し診察を受け病状を把握、適切な医療が受けられるよう支援している。 (外部評価) かかりつけ医の往診の他、町内に所在しない眼科等の受診は、町外で受診できるよう支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 現在利用されている方はいないが、協力医療機関として心療内科があるため、ご家族と協力し必要に応じて通院介助を行ったり、電話で気軽に相談、助言を受けることができる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 介護職員で体調管理や病状把握に努めているが、やはり介護職だけでは利用者・職員共に不安があり、訪問看護ステーションとの医療連携に向けて話し合いを進めているところである。		訪問看護ステーションとの連携を準備中。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時にはできるだけ短期間で退院できるよう主治医と話をする機会を多くもち、家族とも情報交換しながら、早期退院に向けて職員が頻繁に見舞うようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居後早期の段階で重度化に対するホ - ムの考え方、対応方針、医療との連携等十分に説明し意志確認書を作成している。又確認書にとらわれず、状況の変化に応じて話し合いを繰り返し、重度化や終末期に向けた支援をしている。 (外部評価) 看取りや重度化したときのことについて、「気持ちは変わる」ということを前提に、その都度話し合いがなされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、医療関係者とホ - ム側が連携を取り、安心して納得した穏やかな最後が迎えられるよう、随時意志を確認しながら取り組んでいる。		現在は病院との連携でタ - ミナルケアを行っているが、訪問看護ステーションとの連携が取れるよう準備している。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移り住む場合、ホ - ムでのご本人の情報をプライバシーに配慮しつつできるだけ多く情報提供し、住み替えによるダメージを軽減するよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) カンファレンス時等折々に職員の意識向上を図ると共に、その時々に関わり方を代表者や管理者が利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応（特に人前でのトイレ誘導の声かけや入浴時の羞恥心に対する配慮等）の指導を行っている。		
			(外部評価) 居室に設置されているポータブルトイレの位置等の配慮や、トイレ使用時の配慮がうかがえた。食後に歯磨きを嫌がられる方にゆっくりと説明をされていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 一人一人の持てる力に合わせて衣類の選択、買い物時の選択、おやつ時の飲み物の選択、座る場所の選択等危険のない限りできるだけ自己決定してもらうよう支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な一日の流れはあるが、一人一人のペースを尊重し、「早く」「待って」という言葉をできるだけ使わないよう心がけて利用者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるよう努めている。		
			(外部評価) 職員同士で利用者個々の行動について把握し、見守りながら対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 職員は見守りや支援が必要なときに手伝うようにしており、着替え等本人の意志で決めてもらっている。自己決定がしにくい利用者にはできる限り本人の意向を聞きながら支援をしている。理容、美容は本人が行きたいとき、望む店にいけるよう支援している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 家庭菜園で育てた野菜を利用者と一緒に採りに行ったり、調理の下準備や、片付け等共にしている。そして同じテーブルにつき同じ物を食べ、楽しい雰囲気での食事ができている。 (外部評価) 昼食時間が近くなると、利用者が自ら割烹着を着て食事の準備をされている様子がうかがえた。職員と利用者が一緒に食事をされながら、料理の作り方や味付け等についてお話しをされていた。食事の進まない方には、おむすびにされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者が自宅と同様に嗜好品を楽しめるよう(甘い物など健康管理しながら)支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者一人一人の排泄パターンを把握し、できる限りトイレで排泄できるよう声かけやトイレ誘導を行っている。また下着やパットを使い分けることにより本人の不快感の排除、自己負担である排泄用品の出費の軽減に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴回数、時間等個々人の希望に合わせてし、職員が見守りや介助をして、ゆっくり入ってもらっている。また、いつでもシャワーで汗を流せるよう声がけしている。		
			(外部評価) 毎日、希望があればいつでも入浴できるようになっている。薬草風呂等も楽しまれている。入浴時にご自分の下着等を洗濯される方もある。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 散歩や買い物など日常の活動を通して生活リズムを作り、安眠できるよう支援している。眠れない時には職員が添い寝をしたりしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 台所仕事、洗濯、花を生けるなど、利用者一人一人が無理なく楽しんで行えるよう役割がもっている。また、花見や、びわ狩り等季節に沿って楽しみごとあったり、町外に、必要なものを買いに職員と出かけるなど気晴らしの支援をしている。		
			(外部評価) 利用者の方が作った紙人形等がテーブルに飾られていた。野菜作りが得意な利用者と一緒に畑の手入れをされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者一人一人の能力に応じ支援している。できる人にはお小遣いを自分で管理してもらい、買い物も職員と一緒に自由に行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			毎日の買い物には必ず利用者と行くようにしており、回覧板を回したり、近所を散歩したり、地域の行事などにも積極的に参加している。		
			(外部評価)		
			散歩時に、ご近所の方の玄関先でおしゃべりをされたり、近所の神社にお参りに行かれる方もいる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			以前住んでいたところの敬老会や墓参り、奥さんが入院している病院へのお見舞いなど、本人の行きたいところへ出かけられる支援をしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙や電話のやりとり等、希望に応じて支援している。電話は子機を使用してもらい離れたところでも話ができるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族や関係者がいつでも気軽に来やすい雰囲気作り、環境作りに心がけている。訪問時間などは定めていない。また、家族の方にも自由に泊まっていただけよう話している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 人権侵害に当たることを職員が認識しており、拘束のないケアを実践している。ベットで危険な利用者には床に布団を敷いて寝てもらっている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中玄関に鍵をかけることはない。利用者が外出の時は、止めるのではなくできうる限り同行し、安全に自由に暮らしてもらえよう支援している。 (外部評価) 1階のデイサービスの利用者が事業所を訪れることもあり、自由に出入りをされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の様子が把握できる位置関係を職員が気をつけ動いている。玄関にはチャイムを取り付け、出入りが分かるようにしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者のそばで見守りながら記録を行ったり、薬や洗剤など注意の必要な物については利用者の目に触れない場所に保管管理し危険を防ぐよう努めている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書を作成し、必要なケ - スは町への報告を行っている。原因究明と再発防止に向け話し合いをしている。		リスク管理を徹底し事故ゼロに向けて取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作成し、周知徹底を図っている。消防署の協力を得て、年に1度、救命救急の勉強会(実技を含む)実施している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力を得て、避難訓練、消火器の使い方等の訓練を年1回行っている。自治会にはホ-ムの見取り図と利用者の身体状況(歩行困難等)をプライバシーに配慮しながら情報提供し、いざというとき1番に駆けつけてもらえるようお願いしている。 (外部評価) 災害時の役割や担当が決められており、朝に今日の担当として申し送りをされている。又、地域の方が「何かあれば駆けつけるから」と声をかけてくださっている。		継続的な訓練を行い、地域の人と協力し合って安全を守っていくよう取り組む。 さらに、災害時、地域の方が駆けつけてくれた後の事等についても、検討されていくことを考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 様々なリスクの説明と、グル-プホ-ムとしての抑圧感のない生活の維持に向けた取り組みや方針を理解していただき、できるだけ本人の自由な生活を損なわないよう努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員は普段の状態をしっかりと把握し、些細な変化を見逃さないよう異常の早期発見に努めている。変化に気づけばすぐ管理者に報告、早期対応に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人一人の処方箋をシートにし、使用している薬を把握し正しく服用できているか確認している。症状の変化時等は協力医療機関に連絡して指示を受けている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材での調理や散歩、水分補給等いろいろ工夫し自然排便に向けて取り組んでいるが、時に頑固な便秘になり下剤の使用を余儀なくされる方がある。		食材・メニュー・や運動量等に尚工夫をこらし、自然排便できるよう取り組んでいく。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけを行い、チェック表の記入している。歯のない利用者さんに対してはうがいをしてもらい、口腔内の清潔保持をさせてもらっている。		その時の気分で口腔ケアが出来ない利用者さんがおられるが、少し時間を置いたり、職員が変わって声がけし、行ってもらえるよう取り組んでいる。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養が偏らないように高齢者食の本を参考にした調理を心がけており、食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録している。特に不足しがちな水分の確保に努めているが、なかなか摂取してもらえず不足気味の方もおられる。又普通食の摂取ができない方には個別に軟らかく煮たりとろみをつけたり工夫しながら支援している。		形態、種類等をもっと工夫して、必要な水分量が摂取できるよう取り組んでいる。
			(外部評価) 利用者の状態に合わせて食べやすいように調理されたり、メニューを替える等されている。居室には、急須と湯飲みが用意されており、いつでも飲めるようになっている。必要時には、医師と相談しながら水分について管理することもある。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 感染症マニュアルを作成している。職員のうちがいや手洗いについてはチェック表を作り職員全員で実行するよう取り組んでいる。体調不良の職員には休むよう指示し早めの受診を勧めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾等は漂白や太陽熱乾燥を心がけ、調理器具、冷蔵庫、台所水回りの清潔、衛生に気をつけている。また自家菜園で無農薬の新鮮で安全な食材を用いている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りはデイスサービスと共用なので季節の草花を植えたり、ベンチや椅子を置いて無機質にならないように工夫している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングが天窓になっており、柔らかい光に包まれているので利用者も来訪者もリラックスできていると思う。振り子の柱時計や、利用者の手作りの物が飾られており温かく親しみやすい家庭的な雰囲気がある。 (外部評価) 天窓からやわらかい光が射し込み、ソファやテーブル等、利用者それぞれ好きな場所でくつろいでおられた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) それぞれが思い思いの場所で過ごせるように、ソファや椅子を複数箇所に設置している。気の合った利用者さん同士で話をしたり、ベランダに椅子を置き日向ぼっこをしながら過ごしたりと、楽しめている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			タンスやコタツ、テレビ等本人の使い慣れた物を持ち込んでもらうようにしている。ご家族の写真や誕生日の色紙、花等好みの物が飾られており安心して過ごせる場所になっている。		
			(外部評価)		
			居室入り口には夏らしいのれんがそれぞれ掛けられていた。又、洋室和室があり、利用者の状態や好みに合わせておられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			戸や窓はできるだけ開放し換気や臭気に気をつけているが、自室のポータブルトイレを利用している利用者があるため、梅雨時など臭いが気になるときもある。		ポータブルトイレ使用后、直ちに汚物を処理するようにし、臭気対策を講じている。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			要所に手すりを設置し、出来る人には洗濯物を自分で干せるよう物干しの高さを調節し、安全で使いやすく自立した生活が送れるよう配慮している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			各居室にはわかりやすい表札があり、入り口には好みののれんが掛けてある。家庭的な雰囲気を壊さないよう、場所違い、混乱等を防ぐ工夫をしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			階下に広い庭があり、利用者はそれぞれに散歩をしたり、ひなたぼっこをしたりできる空間になっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の関わりの中で、本人の希望を聞いて(どういう生活がしたいか、どこへ行きたいか、誰に会いたいかなど)把握しようと努力している。意思疎通が困難な方は表情等で推し量ったりご家族の意向を聞いている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日常的に利用者と職員がゆっくりと一緒にお茶を飲んだり、おしゃべりをしたり、テレビを見たり、折り紙の好きな利用者さんの部屋で折り紙をおりながら穏やかにゆったりした時間をおくっている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1日のおおまかな流れはあるが、起きる時間も寝る時も個々に皆違っており食事、入浴等も時間に縛られず、一人一人の希望やペースに合わせて生活してもらっている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	意思疎通が困難な方が一人おられるが、他の方は毎日のお茶や食事の時間には職員も一緒に多くの会話を持つように努め、調理や洗濯干し、買い物等本人の能力に応じて行ってもらうことにより、生き生きとした表情や姿が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常的に外出しており、本人の意向、希望(ショッピング、他の施設の友人訪問、神社参拝、外食等)をできる限りかなえられるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員が利用者の状態を常に把握しており、医療機関へも電話で気軽に相談ができ、状態変化時にはかかりつけ医の受診や往診を受けることができる。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の希望、要望を第一に定期外の受診や急な外出、外泊等に対して柔軟に対応し、安心して暮らしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	入居料支払い時にご家族の希望や困っていること、不安なこと等時間を取って話しを聴くようにしている。いろいろな悩み事など相談してくれる家族が多く、信頼関係ができていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	頻繁に関係者が来てくれる人や月1回程度の人もあり人によって訪問者数に差がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	行事の度に声かけしてもなかなか来てもらえなかった方々も、運営推進会議によって初めてホ-ムに足を踏み入れて下さり、実際を見ることによって理解して頂けるようになった。「認知症になっても地域にホ-ムがあると安心できる」と言ってくださるまでになり理解者や応援者が少しずつ増えている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の声が明るく常に笑顔がみられ、意欲的である。利用者との関わりも積極的で、利用者との一日一日を職員自身が楽しもうとする姿がみられる。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者はその時々気分や状況で正反対のことを言う事があるが、日々の会話(死ぬまで置いてな等)や表情で満足度はおおむね把握できていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	ほぼ全ての家族が家族より良くしてくれると感謝の言葉をかけてくださるのでおおむね満足して下さっていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当ホームは四季折々の自然豊かな山々に囲まれた久万高原町の人情豊かな下町に、平成18年8月に民家改修型ホームより新築移転したグル-プホ-ムです。「自由権の尊重」を基本理念に置き、入居者の意志、行動に対して、危険性がない限り干渉せず、自立と本人の望む生活を支援することに力を入れて取り組んでいます。開設当初より地域住民との交流が行われており、認知症になっても住み慣れた地域の中で、支え合う職員と共に自由に楽しく自分らしく暮らしています。